

(昭和61年8月1日現在)

人口	21,581	(+13)
男	10,578	(+1)
女	11,003	(+12)
世帯数	6,650	(+8)
一人のうごき(7月中)		
転入	80人	転出 78人
出生	21人	死亡 10人

まくべつ

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



90ホールを終えて、満足そうな顔、顔、顔

パークゴルフチャレンジ90大会が8月3日に行われました。この日は日中の気温が30度を越し、ジッとしていても汗が吹き出てくるような猛暑の中で、全員が見事にホールアウトしました。

最後の俳句村コースの18ホールを終えて全員で記念撮影。優勝した人も、優勝できなかった人もみんな満足そうな顔でした。

61年 9

No. 416

明るく豊かな老後を...

人はだれしも年をとり、やがては皆さんの両親・親族も一歩ずつお年寄りの仲間入りをしていくものです。老後の問題は、決してお年寄りだけの問題ではありません。九月十五日の敬老の日だけにとどまらず、明るく豊かな老後を築くために、いま一度みんなでじっくり考え直してみましよう。

日本人の平均寿命は大幅に延び、現在六十五歳の人の平均余命(あと平均して何年の余命があるか)は男性で約十六年、女性で十九年です。このように平均寿命の延びは、たいへん喜ばしい限りですが、一方、手放して喜んでいるわけにはいかない面が出始めていることも現実です。

その一つに、高齢化社会の問題が挙げられます。現在、本町には六十五歳以上のお年寄りは二千二百二十八人います。これは総人口の一〇・三%を占めますから、幕別町の十人に一人は六十五歳以上のお年寄りということになります。昭和四十年と比べると、人口の増加率は一九%ですが、高齢人口(六十五歳以上のお年寄りの人口)の増加率は一四・二%と驚異的な伸びをみせています。(表参照)

人生八十年時代をむかえて、長い老後をどう生きるかは、わたし

たち一人ひとりが真剣に取り組まなければならない問題です。いまや「余生」というような人生五十年時代につくられた考え方や生き方

年 度	人 口	老 齢 人 口	人 口 に 占 め る 割 合
昭和35年	17,393 人	809 人	4.7 %
〃 40年	18,145	920	5.1
〃 45年	18,386	1,137	6.2
〃 50年	18,444	1,364	7.4
〃 55年	20,084	1,789	8.9
〃 60年	21,592	2,228	10.3

高齢人口の推移

まくべつ長寿者番付 (61. 8.20現在)

東			番 付	西		
			横 網			
堀川 保	依 田	96	大 関	岡田 義一	札内春日町	95
二川 ヤイ	幸 町	94	関 脇	松原 はる	依 田	94
磯部 ふみ	千 住	94	小 結	古酒 イシ	新 町	93
只野 正美	札内春日町	93	前 頭	晒谷 ちよ	札内豊町	92
国枝 幸吉	札内青葉町	92	2	高橋 サキ	緑 町	92
園部 ケイ	緑 町	92	3	新谷 春	依 田	92
山田 アヤ	札内豊町	92	4	寺山 みよ	糠 内	91
久保英太郎	古 舞	91	5	高垣 累二	駒 島	91
坂 伊十郎	依 田	91	6	小笠原リエ	札内桜町	91
谷友小きん	日 新	91	7	池上 次作	緑 町	91
川口 菊井	依 田	91	8	岩井 タカ	中 里	91
西川勇次郎	五 位	91	9	片山たつゑ	中 里	90
山崎 己作	日 新	90	10	小川長太郎	猿 別	90

(敬称略、同年齢は生年月日による)

は、大きな見直しを迫られています。人生八十年時代に、生きがいのある豊かな老後を過ごすにはどうしたら良いのでしょうか。多くのお年寄りの声に耳を傾けてみると、お年寄りの願いは決して年金の増額や医療福祉の充実だけではないことがわかります。行政サービスがより充実し、いつそうキメ細かな施策が展開されるようになってい

行政が肩代わりできない面があります。人間的なつながりによる連帯感の共有、情緒的な心の安定、孤独をいやしてくれる仲間意識、生きる気持ちの張り……などで、これらはすべて地域社会活動の活性化によってもたらされるものです。地域社会づくりには、その地域に長く住み、しかも十分な余暇があり、豊かな社会的経験をもつ人が適しています。これらの条件を

最もよく満たしているのが、ほかならぬお年寄りの皆さんではないでしょうか。お年寄りの豊かな知識と経験が十分に生かされないのは、大きな社会的損失です。また、お年寄りの皆さんも、長年培った知識、人生体験を生かして、社会の一員としての役割りを果たしたいと願っています。大いに地域社会活動に取り組んでいただけるような環境をつくるとともに、地域社会づくりにお年寄りが積極的に参画することが、一方ではお年寄り自身の生きがいの創造にもつながるのではないのでしょうか。

米寿おめでとう

今年、米寿(数え年八十八歳)を迎えられた方は、次の二十三人の皆さんです。今年(明治三十二年)生まれの方が米寿に該当します。西歴でいえば一八九九年です。最後の米寿になります。この年の二年前に幕別外六力村戸長役場が猿別市街に設置されました。

これからも健康に留意され、ますますお元気でいてください。(五十音順に掲載)



乾 勇さん
(途 別)



和泉 藤吉さん
(千 住)



青砥 ツネさん
(明 野)



香川 コマキさん
(軍 岡)



小串 九三さん
(南 町)



小川 ムメノさん
(猿 別)



小笠原 伊三吉さん
(南 町)



岡崎 スエノさん
(依 田)



神内 ユキエさん
(相 川)



篠原 一彦さん
(千 住)



澤田 ツタさん
(古 舞)



佐久間 政司さん
(明 倫)



佐伯 佐七さん
(新 和)



松田 シゲルさん
(千 住)



本保 次作さん
(札内新北町)



堀田 すてさん
(豊 岡)



七島 しげさん
(明 野)



大作 朝光さん
(札内西町)



渡辺 茂雄さん
(相 川)



矢野 まつさん
(千 住)



矢野 キエノさん
(札内東町)



柳井 寛一さん
(猿 別)



三好 ヤスさん
(猿 別)



開基90年記念事業

これからも続々と登場

十月一日の開町記念日を中心に開基九十年記念事業がこれからも続々と登場します。九月十日にはNHK「ひるの散歩道」の公開録音、十月一日には記念式典が行われます。今月号では、それら記念事業の概要を紹介します。

NHK公開録音 「ひるの散歩道」

NHK「ひるの散歩道」の公開録音は九月十日(水)に行われます。会場は札内東中学校体育館です。出演歌手は村田英雄・金田たつえ、松原のぶえの演歌歌手三人で、演奏は小林力とメッセンジャーです。当日は午後六時に開場し、開演は午後七時の予定です。入場整理券がなければ入場できませんのでご注意ください。

十月一日の開町記念日に記念式典

幕別の地に開拓の鍬(くわ)がふるされてから九十年の歳月が過ぎようとしています。今では美しい町並のこの土地も、その昔は原始林におおわれていました。先人の開拓魂には尊敬の念を深めずには

いられません。

幕別町開基九十年記念式典は、開町記念日の十月一日に町民会館で行われます。式典では、多くの先人の偉業をしのぶとともに、町の発展に功績のあった方などの表彰を行います。

また、たくさんの方の町民の皆さんから応募のあった町花、町木、町鳥の発表も行います。

写真で見ると 幕別の歴史展

「写真で見ると幕別の歴史展」を十月一日から十一月一日までの一カ月間、ふるさと館で開催します。現在ふるさと館のスタッフが展示する写真の選定作業に取りかかっています。九十年前(明治三十年)に猿別市街に設置された戸長役場や渡船場、昔の農作業風景など昔の写真九十枚が展示される予定です。

十月五日には 産業まつり

昭和五十一年十月三日に幕別温泉ホテル前で、開基八十年記念まつりが開催されました。これをきっかけにして、昭和五十三年から産業まつりが行われるようになりました。今年も九回目を迎え、十月五日(日)に幕別温泉ホテル前で開催されます。

開基九十年記念協賛事業として行われる今年の産業まつりは、これまでのより、さらにグレードアップして行われます。職場や公区の団体、ご家族そろってお越しください。

町内全戸に 小史を配布

幕別町のこれまでの歩みをつづった小史を発行し、町内全戸に配布いたします。蝦夷から北海道に改称された明治二年から現在までの幕別の歴史を年表形式で十八ページの中にまとめてあります。十月月上旬に各公区を通じて全戸に配布いたします。

テレホンカード を販売中

開基九十年を記念したテレホンカード(五十度数、五百円分)を八月七日から販売しています。価格は一枚五百円で、役場住民係窓口、札内支所、嫌内出張所等と取り扱っています。知人、友人へのちょっとしたプレゼントなどにも最適ですのでご利用ください。

このほか、十月十日には開町記念全町マラソン大会、十月二十五日から十一月三日までは町民芸術祭、十一月二、三日には健康まつりが開催されます。

「まくべつ」旅情の レコードが発売に

旅の流れに 身をまかせ 一人静める 湯のかをり まどにおビヒロ ネオンの夜は 愛のほかに ゆれるまぢ ああ... わすられぬ



役場を訪れた堀田さん(右端)と横内さん(左端)

幕別温泉の湯につかり、帯広の夜景を見ながら旅の疲れをいやす情景が目につかびます。古舞在住の堀田忠雄さんのこの詞に横内淳さんが曲をつけた「まくべつ旅情」のレコードが八月十三日から発売になりました。作曲した横内さん自身が歌っています。レコードのジャケットは帯広の夜景をバックに、林町長が題字を揮ごうしました。レコードは一枚七〇〇円、カラオケテープ(まくべつ旅情ほか三曲入り、8トラック)は千五百円、セットの場合は二千円で販売しています。ご希望の方は町観光協会事務局(役場開発商工課内)へどうぞ。

幕別町の夏を彩る「盆踊り大会」が幕別と札内の二会場で行われました。

幕別は8月16日に、今年から会場を駅前通りに移して行われ、団体ではオール緑町公区が優勝しました。

札内は8月16、17日の両日に行われ、たくさんを見物人も踊りの輪の中に入りました。見事な山車(だし)を作った札内農協が団体優勝に輝きました。

札内

幕別

団体優勝に輝いた札内農協の山車



見事な「北海盆唄」が会場内に響きました



ユーモラスな踊りを披露した「ミッキーマウス」(達別婦人部)

熱気につられて見物人も踊りの輪の中に



盛夏の一夜を楽しんだ仮装盆踊り

勇壮な踊りで団体優勝を飾った「白虎隊」(オール緑町公区)



まだまだ若い。中央老人クラブの「夢をもう一度」



個人の部優勝の「虚無僧」



額に汗、手にはマメ。ご苦労様でした



異国情緒豊かな「アラビアンナイト」(特養札内寮)



開基90年をテーマにした「手をつなごう」(旭町第4公区)

猛暑の中全員がホールアウト

パークゴルフフチャレンジ90大会

開基九十年記念事業の一つであるパークゴルフフチャレンジ九十年大会が八月三日に行われました。当初は七月十三日に行う予定でしたが、雨天のため八月三日に延期されたものです。

開基九十年にちなみ、九十ホールをプレーするこの大会には、町内のパークゴルフ愛好者百人余りが参加しました。コースは、幕別運動公園つつじコース(三十六ホール)、白人公園エルムコース(三十六ホール)、依田公園俳句村コース(十八ホール)のパー三百二十で行わ

れました。

午前八時半から約五十人づつが幕別運動公園と白人公園からスタ



さぁスタート。ボールの行方は…(つつじコース)

ートし競技が始まりました。この日は日中の最高気温が三十度を超えるという暑い日でしたが、三十六ホールを終えた選手たちは、「行ってきます」と元気に次のコースへ向かっていきました。

午後一時すぎには、七十二ホールを終えた選手たちが続々と最後の俳句村コースに到着し、お互いに励まし合いながらプレーを続けました。九十ホール目では、先にプレーを終えた人たちが、次々にプレーを終えた選手を拍手で迎えるという光景も見られ、午後四時には全員がホールアウトしました。

男子は小松昌良さん(札内新北町、六十二歳)が二十四アンダーの三百六、女子は金岡信子さん(錦町、四十歳)が三アンダーの三百二十



男子優勝の小松さん(左)と女子優勝の金岡さん(右)

七で優勝しました。上位の成績は次のとおりです。(敬称略)

- ▽男子 ①小松昌良 306 ②矢野武男 308 ③小野典明 308 ④鎌田汎 309 ⑤佐藤富士雄 312 ⑥小野寺博昭 313
- ▽女子 ①金岡信子 327 ②福田登喜子 330 ③篠永とも子 338 ④小野寺英子 345 ⑤額瀬末子、藤原久子 349



た おか
田岡 雪枝さん (22歳)
ゆきえ
緑町9
▼東洋土木株式会社
海外旅行に
行きたいですね

ここに勤めて五年目になります。主に経理事務を担当しています。海外旅行をするのが夢で、できれば結婚前に行きたいですね。天国に一番近い島といわれるニューカレドニアの海辺でのんびりとできれば最高でしょうね。

ドライブが好きで、先日も富良野まで愛車で行ってきました。もちろん安全運転を心がけています。

こんにちは (17)

ふるさとへの便り… (6)

いしもり
石森ハル子さん (49歳)
(東京都世田谷区)



思い出す四十五年

前の「鉄南」

幕別町の皆さん、お元気でしょうか。今年は何も開基九十年という事で、さまざまな記念事業を行

っている聞いています。大成功を期待しております。四歳の時から幕別に住んでいましたが、当時は現在の宝町は「鉄南」と言っていて、家の数も十七・八軒ほどしかなかったと記憶しています。それから四十五年が過ぎ、家の灯りが増し、町全体が大きくなっていくようすが見えます。「広報まくべつ」で私の育った町の変わる姿を見て、心暖まる思いです。

幕別町と幕別の皆さんのますますのご発展を、お祈りいたします。

開基90年

あつ場所今昔



昭和13年の止若橋。勝山医院横の急な坂道をおりたところがありました。



現在の止若橋。昭和30年に建設され、その後歩道も整備されました。

まくべつタイムトンネルの六回目は、止若橋の変遷を紹介いたします。

まくべつタイムトンネル (6)

町内3カ所に健全育成宣言塔



児童生徒健全育成宣言塔が働く婦人の家(札内中央町)前に設置されました。宣言塔は高さ六メートルで、八月七日に披露式が行われました。また同様のものが町民会館と糠内市街にも設置されました。



受精卵移植牛が初の出産

受精卵を移植された乳牛から、8月18日、仔牛が誕生しました。大豊の日野安広さん所有の牛で、幕別では初めての事です。受精卵移植は血統の優れた乳牛を増産する方法として、畜産農家から期待が寄せられています。



美川地区婦人部(山崎千賀子部長)が、8月12日に特別養護老人ホーム札内寮に、自家菜園で作った野菜と果物をどっさりとプレゼントしました。取りたてのスイカ、トマト、キャベツなど新鮮な野菜と果物に寮側でも大喜びをしていました。



美川地区婦人部が野菜などをプレゼント

炎天下で交通安全パレード

全パレードが七月三十一日、札内市街で行われました。参加したのは札内バトクラブ、白人音楽少年団、札内東中ブラスバンド部などで、約二キロの行進を汗びっしょりになりながら音楽演奏で交通安全を訴えました。



町民みんなの関心事

良い子を育てるために⑥

町児童生徒健全育成推進委員会

カッコウの託卵— 限度を知らない子どもたち

カッコウは自分で抱卵しないのでオオヨシキリやセキレイなどの巣に卵を一つ産み入れて育てさせる。カッコウの卵は十一日前後でフ化し、育ててもらった鳥の巣の卵は十四日ぐらいかかるので、カッコウのヒナは巣の卵を押し出してその巣を独占する。育ててくれる鳥のヒナを犠牲にして成長したカッコウのヒナは九月ごろに巣立ちする。

現代の子どもはカッコウに似ています。一人か二人の子どもを育てる親はオオヨシキリに似ています。少なく産んで十分な教育を考えるのは親の願いです。十一日でヒナにかえらぬ家庭ではカッコウにねらわれています。親の姿を写しているが、中身が少し違うヒナが優先して良い環境を与えられ育てられる。どうも違うようだなと思いつつも一生懸命育てる。やがて、似ても似つかない子に成長する。それでもカッコウは自然の限度を守っています。すべてのオオヨシキリの巣にたくさんの卵を産みませんから。限度を知らない、または知ろうとしない子どもが増えてきています。

さて、青少年の喫煙や飲酒の害が叫ばれて久しいのですが、日本では改められる気配が少なく、限度を知らない青少年の喫煙はニコチン中毒者の大量発生が予測され、飲酒ではアルコール中毒患者が確実に社会問題化する時が必ず来ると思われます。

いつの時代でもカッコウのような生活をする人はいるものです。社会全体でカバーできる限度内の上はよいのですが、限度を超えたとき、オオヨシキリもカッコウも滅亡の危機が来ると思われます。

将来、社会を担ってくれる青少年がこのことに気づき、反省して巣立つてくれることを願っています。十一日でヒナになるカッコウより一日でも早くヒナになるような社会環境を作るために、限度をしっかりと教えることが大切ではないでしょうか。

私の声を町民に送る旬間

道路整備など百三件

広聴はがきで町づくりに参加し、町民の皆さんが、日ごろから町政に対して思っていること、町づくりへのアイデア、将来の希望、意見などをお聴かせいただく「私の声を町長に送る旬間」を実施しました。

八月五日から十四日までの期間中に六十四通・百三件の要望や意見

見が寄せられました。いただいたはがきの男女別では、男性五十八人、女性十四人で男性が七八%を占めています。年代別では、五十代が十五人と最も多く、六十代・十四人、三十代・八人、七十代・八人の順となっています。

内容別件数では、「家の近くの道路を補装に」、「町道の補修を万全

に」など道路整備・管理関係が十九件、「図書館の建設」、「文化センターの建設」など教育関係が十五件と上位を占めています。続いて農商工業関係十三件、環境衛生関係が十二件、役場に対して九件となっています。

たくさんの方の貴重なご意見をいただきありがとうございます。

寄せられたはがきは、町長がすべて目を通し、担当課と協議して回答書を作り、町長の意見を加えて本人へ直接回答します。無記名の方は、回答できませんのでご了承ください。

を重ねて、現在の形になりました。

18 幕別町の一村一品に

ひと

パークゴルフの用具づくりに取り組んでいる
ひらつか じろうさん
平塚 治郎さん
(新町・59歳)

幕別町で生まれたニュースポーツ「パークゴルフ」がブームを呼んでいます。このパークゴルフの用具づくりに取り組んでいるのが新田ベニヤ工業株式会社で、その中心になっているのが同社業務部長の平塚治郎さんです。

「町教委からスティックの修理を頼まれたり、スティックが傷みややすいという話を聞いて、一年半ぐらい前からスティックづくりに取り組んでいます。以前にゴルフクラブのヘッドを製造していたので、その技術を利用しました。改良に改良

昭和二年、室蘭に生まれる。奥さんと二人暮らし。

なお、昨年は九十通・百三十八件の貴重なご意見をいただきました。

「寄付ありがとうございます」

町へ：
▽大石忠夫さん(緑町)から二十万円
▽香西かつゑさん(弘和)から五万円

社会福祉協議会へ：

▽小笠原国吉さん(美川)から五万円
▽香西かつゑさん(弘和)から十万円
▽町民ゴルフ大会から三万円
▽大石忠夫氏叙勲祝賀会から一万四千五百円
▽町商工会札内支部青年部から八万二千七百二十五円
▽芝木勝幸さん(宝町)から二十万円
▽鈴木義春さん(札内新北町)から自転車一台

老人クラブへ：

▽佐藤カメヨさん(古舞)から古舞老人クラブへ三万円
▽小笠原シゲさん(美川)から美川老人クラブへ二万円
▽駒島老人クラブへ奇藤ウメさん(弘和)から三万円、香西かつゑさん(同)から十万円
▽高橋さよ子さん(旭町)から旭町老人クラブへ一万円
▽芝木勝幸さん(宝町)から宝町宝寿クラブへ三万円

その他：

▽南幕別新生活運動推進委員会へ小笠原国吉さん(美川)から五万円、奇藤ウメさん(弘和)から一万円、島田スミさん(駒島)から一万円、香西かつゑさん(弘和)から三

万円(七月十七日～八月二十日分)

上原忠夫さんから

町へ二百萬円の寄付

上原忠夫さん(相川)から、幕別町に入植して八十年を記念して、二百萬円の寄付がありました。



菅原助役に寄付を渡す上原忠夫さん(右)

(株)北洋道路から

町へ百万円の寄付

(株)北洋道路(帯広市)北林芳夫代表取締役)から、プラント落成祝賀会を廃止して、町に百万円の寄付がありました。



林町長に寄付を渡す北洋道路の田村会長(右)